

ルーミス・グローバル債券ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年1月12日～2022年7月11日

第180期	決算日：2022年2月10日	
第181期	決算日：2022年3月10日	
第182期	決算日：2022年4月11日	
第183期	決算日：2022年5月10日	
第184期	決算日：2022年6月10日	
第185期	決算日：2022年7月11日	
第185期末 (2022年7月11日)	基準価額	6,264円
	純資産総額	2,082百万円
第180期～ 第185期	騰落率	2.3%
	分配金合計	30円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

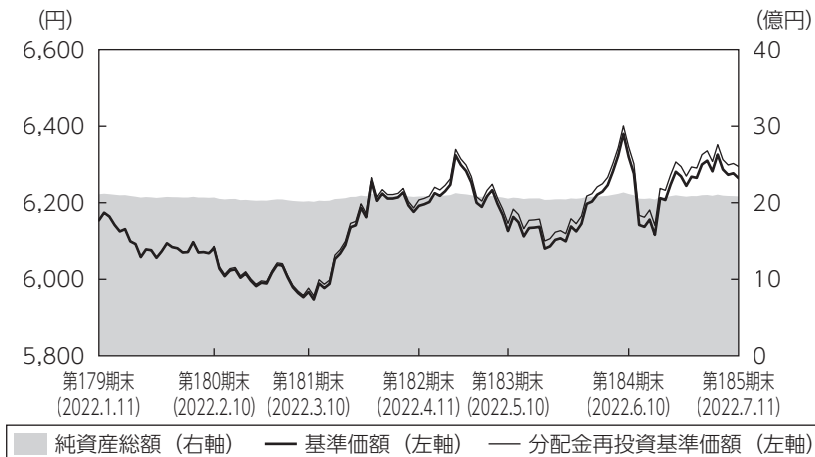
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第180期首： 6,154円
 第185期末： 6,264円
 (既払分配金30円)
 騰落率： 2.3%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「ルーミス・グローバル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界各国の公社債へ投資を行った結果、米ドルなどの通貨が対円で上昇したことなどから、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第180期～第185期		項目の概要
	(2022年1月12日 ～2022年7月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	50円	0.818%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6,146円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(29)	(0.464)	
(販売会社)	(20)	(0.327)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
(b) その他費用	2	0.029	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(2)	(0.028)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
合計	52	0.847	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

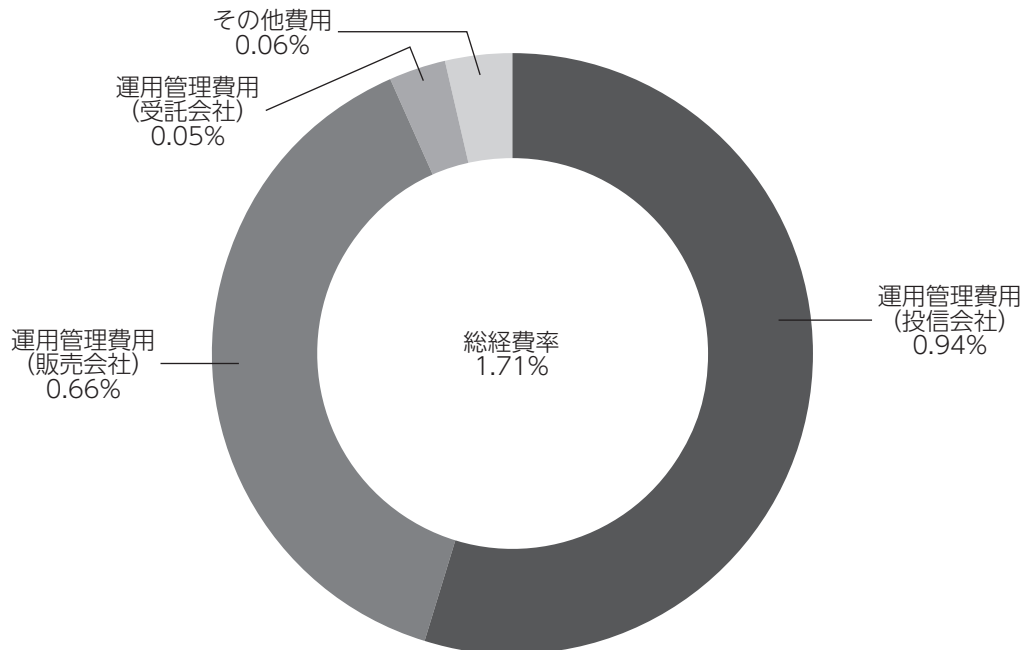
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



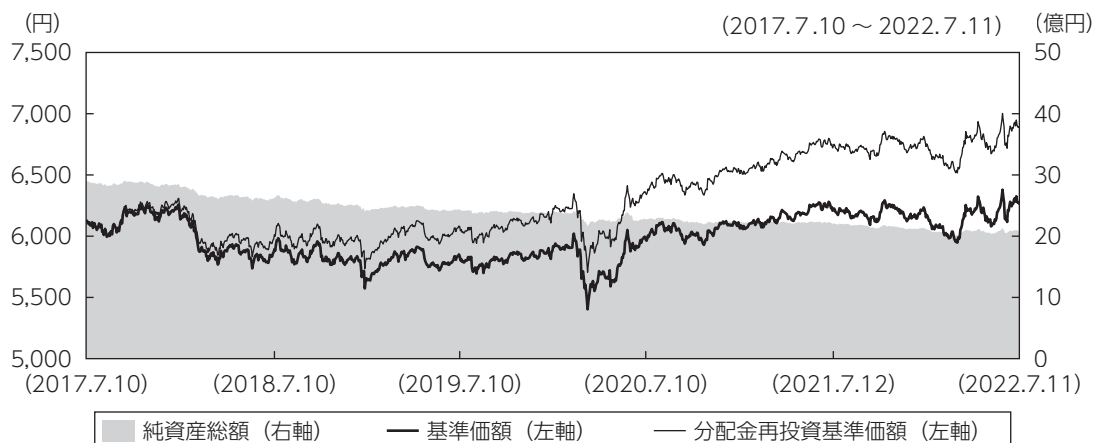
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



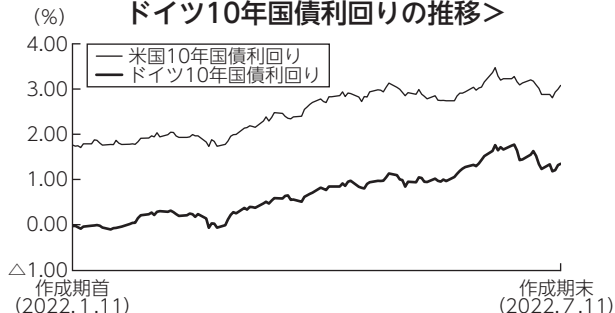
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年7月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年7月10日 期首	2018年7月10日 決算日	2019年7月10日 決算日	2020年7月10日 決算日	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	6,118	5,894	5,835	5,972	6,211	6,264
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	120	120	120	120	85
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.7	1.1	4.5	6.1	2.3
参考指数の騰落率 (%)	—	△0.8	3.0	5.2	5.9	4.5
純資産総額 (百万円)	2,898	2,630	2,434	2,275	2,203	2,082

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はブルームバーグ・グローバル総合(日本円除く)インデックス(為替ノーヘッジ・円ベース)です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております (以下同じ)。

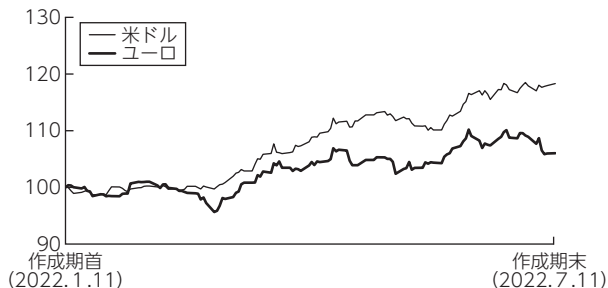
投資環境

<米国10年国債利回りおよびドイツ10年国債利回りの推移>



(注) 値は前営業日のものを用いております。

<米ドルおよびユーロの推移>



(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

米国国債市場は、3月にかけてのF R B（米連邦準備制度理事会）による早期利上げ観測の高まりやそれに伴う利上げの実施、またその後の金融引締め加速に対する積極的な姿勢などを受け下落（利回りは上昇）しました。ドイツ国債市場は、E C B（欧州中央銀行）による金融政策の早期正常化観測が高まったことなどから下落しました。投資適格社債市場は、米国、欧州ともに下落しました。信用スプレッドは、米国、欧州ともに全般的に拡大しました。

先進国の高利回り債市場、新興国の公社債市場はともに下落しました。

為替市場（対円）は、米ドル、ユーロともに上昇しました。米ドルは、F R Bによる利上げの実施観測や、米長期金利の上昇、日銀が金利上昇を抑制する姿勢を明確に示すなど、日米の金融政策に対する姿勢の違いが意識されたことなどが上昇要因となりました。ユーロは、E C Bの金融政策正常化観測などが上昇要因となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

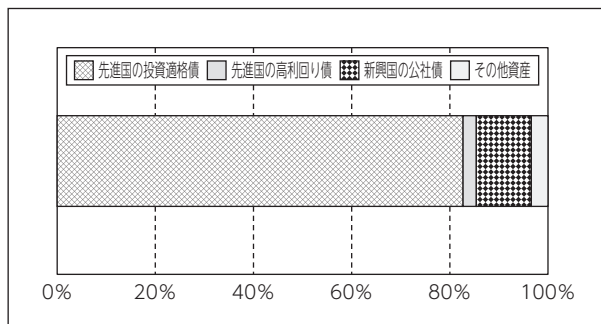
「ルーミス・グローバル債券マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお、実質組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

●ルーミス・グローバル債券マザーファンド

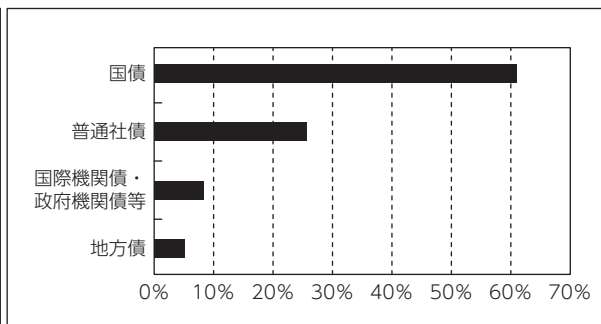
資産配分比率は、先進国の投資適格債を基本配分比率（60%）より高めに維持しました。先進国の高利回り債および新興国の公社債については、基本配分比率（それぞれ20%）より低めとしました。投資通貨は、米ドル、ユーロを中心とし、英ポンド、カナダドルなどへの配分を維持しました。上記の通り運用を行った結果、米ドルなどの通貨が対円で上昇したことから、基準価額は上昇しました。

作成期末

〔資産別配分比率〕



〔種別組入比率〕

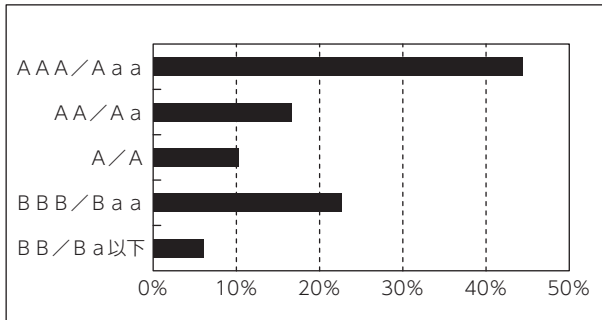


(注1) 上記比率は、ルーミス・グローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他資産には現金、経過利息等を含みます。

(注) 上記比率は、ルーミス・グローバル債券マザーファンドの債券部分に対する評価額の割合です。

【格付別比率】



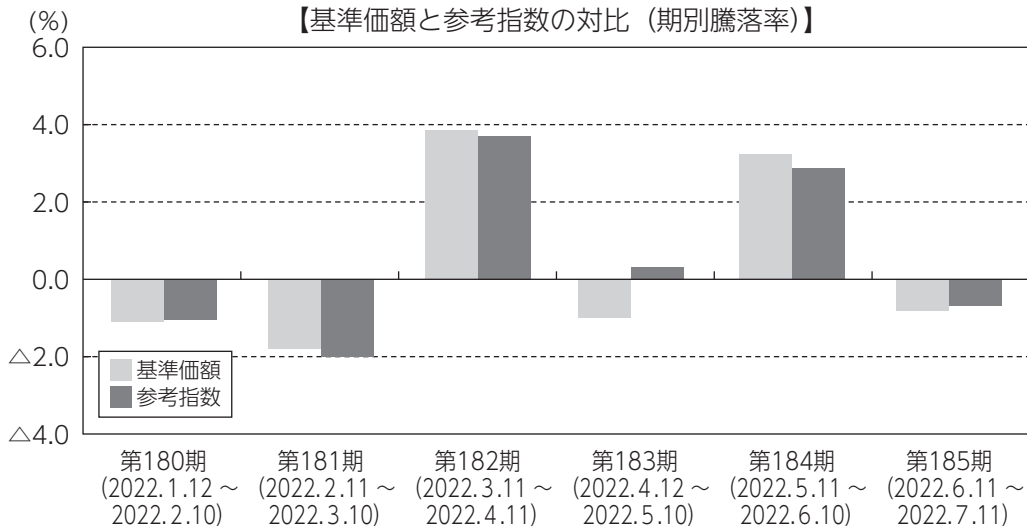
(注1) 上記比率は、ルーミス・グローバル債券マザーファンドの債券部分に対する評価額の割合です。

(注2) ファンドの格付は、S & P、Moody'sのうち高い方の格付を採用しています。

(注3) 無格付銘柄については、BB/Ba以下に含めて表示しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、利息収入相当分を中心とし、基準価額の水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期
	2022年1月12日 ~2022年2月10日	2022年2月11日 ~2022年3月10日	2022年3月11日 ~2022年4月11日	2022年4月12日 ~2022年5月10日	2022年5月11日 ~2022年6月10日	2022年6月11日 ~2022年7月11日
当期分配金（税引前）	5円	5円	5円	5円	5円	5円
対基準価額比率	0.08%	0.08%	0.08%	0.08%	0.08%	0.08%
当期の収益	2円	3円	5円	3円	5円	5円
当期の収益以外	2円	1円	-円	1円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	165円	163円	171円	170円	177円	177円

(注1)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「ルーミス・グローバル債券マザーファンド」の組入れを高位に維持します。

●ルーミス・グローバル債券マザーファンド

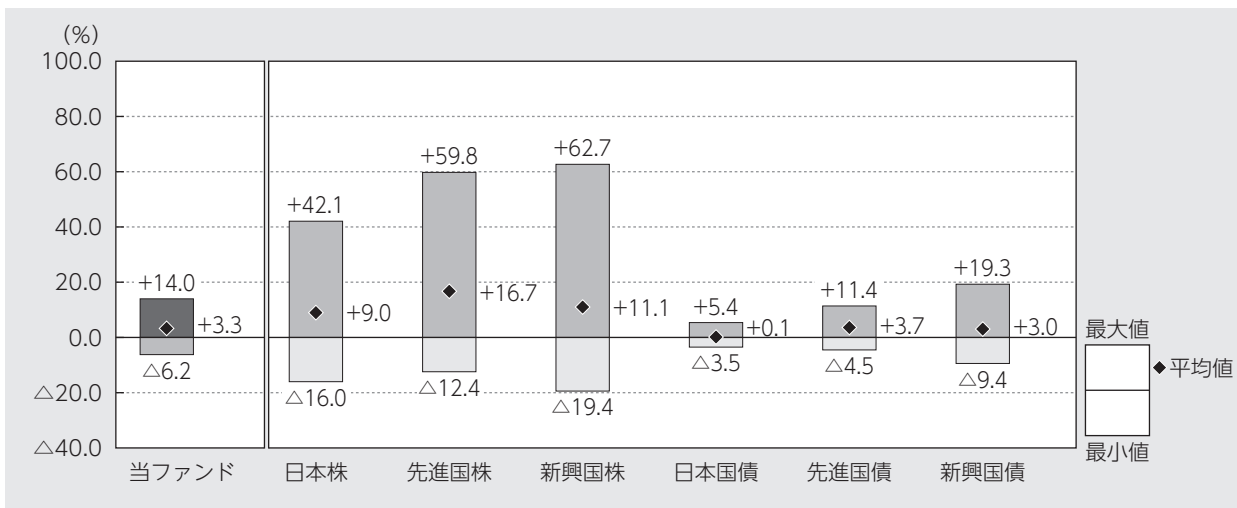
足もと、インフレの高止まりや、ウクライナ情勢をめぐる警戒感が継続していること等に、引き続き留意が必要と考えています。債券種別配分については、引き続き相対的に利回り水準が高い社債に投資妙味があると考えます。

このような中、当ファンドは、ファンダメンタルズ分析の下、流動性に留意しつつ、割安な銘柄への投資機会を探っていきます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年1月31日から無期限です。	
運用方針	日本を除く世界各国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	ルーミス・グローバル債券ファンド（毎月決算型）	ルーミス・グローバル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ルーミス・グローバル債券マザーファンド	日本を除く世界各国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>ファンド全体の加重平均格付けは、BBB格相当以上に維持することを基本とします。公社債の組入比率は、高位を保つことを基本とします。</p> <p>先進国の投資適格債60%、先進国の高利回り債20%、新興国の公社債20%を基本配分比率とします。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>ルーミス・グローバル債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。</p>	
分配方針	<p>第3期以降、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。以下同じ。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、原則として利息収入相当分を中心とし、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>なお、売買益等については、原則として毎年5月および11月の決算時に分配を行うことを目指します。ただし、分配対象額が少額の場合ならびに委託会社が基準価額の水準、市況動向を勘案したうえで、分配を見送る場合があります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年7月～2022年6月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPMオルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2022年7月11日現在）

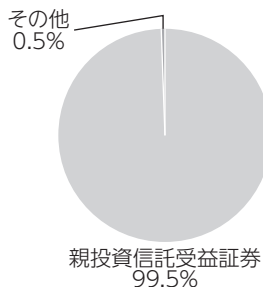
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：1ファンド)

	第185期末
	2022年7月11日
ルミス・グローバル債券マザーファンド	99.5%
その他	0.5

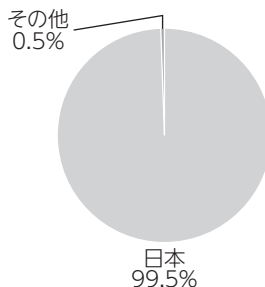
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

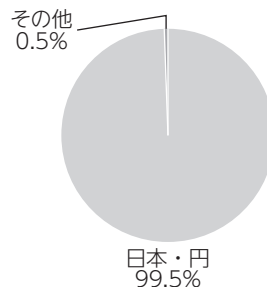
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

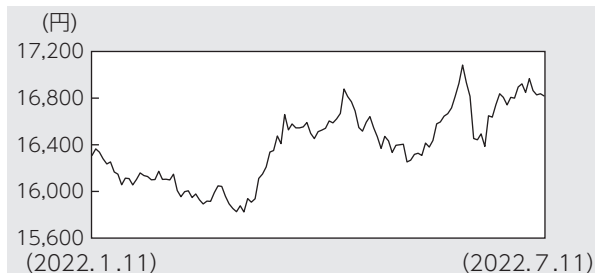
項目	第180期末	第181期末	第182期末	第183期末	第184期末	第185期末
	2022年2月10日	2022年3月10日	2022年4月11日	2022年5月10日	2022年6月10日	2022年7月11日
純資産総額	2,068,068,444円	2,019,365,949円	2,081,746,351円	2,053,530,094円	2,113,596,489円	2,082,464,119円
受益権総口数	3,400,891,582口	3,384,089,738口	3,362,035,112口	3,352,360,650口	3,344,550,009口	3,324,594,842口
1万口当たり基準価額	6,081円	5,967円	6,192円	6,126円	6,320円	6,264円

(注) 当作成期間（第180期～第185期）中における追加設定元本額は1,153,285円、同解約元本額は105,996,968円です。

組入ファンドの概要

【ルーミス・グローバル債券マザーファンド】（計算期間 2022年1月12日～2022年7月11日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

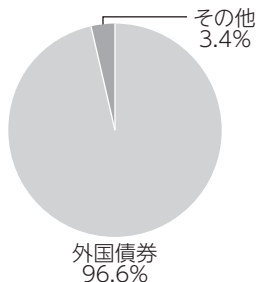
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 2.75 04/30/27	アメリカ・ドル	6.5%
US T N/B 1.5 01/31/27	アメリカ・ドル	3.0
ITALY BTPS 1.35 04/01/30	ユーロ	2.6
DEUTSCHLAND 0.0 08/15/30	ユーロ	2.6
UK TREASURY 3.25 01/22/44	イギリス・ポンド	2.4
DEUTSCHLAND 0.5 02/15/25	ユーロ	2.3
US T N/B 2.5 05/31/24	アメリカ・ドル	2.2
US T N/B 0.5 02/28/26	アメリカ・ドル	1.9
BANK OF AMERICA CORP 4.2 08/26/24	アメリカ・ドル	1.6
QUEENSLAND 2.75 08/20/27	オーストラリア・ドル	1.6
組入銘柄数	153銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

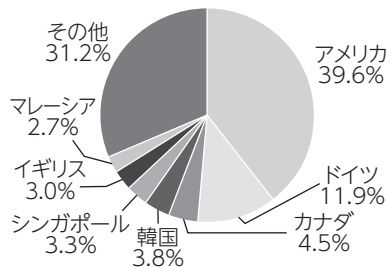
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	5円 (5)	0.028% (0.028)
合計	5	0.028

期中の平均基準価額は16,391円です。

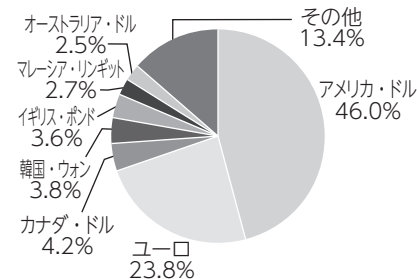
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 国別配分、通貨別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（為替ノーヘッジ・円ベース）

「Bloomberg®」およびブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（為替ノーヘッジ・円ベース）は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne^(株)による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne^(株)とは提携しておらず、また、ルミス・グローバル債券ファンド（毎月決算型）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ルミス・グローバル債券ファンド（毎月決算型）に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広く網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「J P MorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

